いずみ野線A駅 (秋葉台公園東側付近) 周辺 まちづくりニュース

~いずみ野線延伸に向けた状況や地域のまちづくりについての情報発信~

2023年(令和5年)3月発行

<発行・編集> 藤沢市都市計画課

・電 話: 0466-50-3537 • FAX : 0466-50-8223

・電子メール :

fj-tosikei@city.fujisawa.lg.jp

Topics

- A駅周辺まちづくり連絡会(第8回について) 1)
- これまでの連絡会の内容について 2)
- 3) いずみ野線延伸の取組状況について
- MM セミナー「かしこいクルマの使い方を考えてみましょう」 4)

1) A駅周辺まちづくり連絡会(第8回)について

2023 年(令和 5 年)2 月 13 日に、A 駅の設置が予定されているイトーヨーカド -湘南台店周辺の自治会等の代表の方などで構成されたいずみ野線 A 駅周 辺まちづくり連絡会(第8回)を遠藤市民センターで開催し、意見交換を行い ました。今回のニュースでは第8回連絡会の内容を中心にご報告します。



2) これまでの連絡会の内容について

A駅周辺まちづくり連絡会を設置する契機となった、「いずみ野線 A駅周辺まちづくり基本計画 lを説明し、 まちづくりにおける現段階で対応すべき課題のうち、ここ最近進捗があった事業について、紹介しました。

<秋葉台公園の価値向上>





インクルーシブな遊具 やスケートボード広場 がオープンしました。

<一色川流域での水害対策>





引地川合流部から上流に 向かって、河道の拡張や橋 の架け替えを行いました。

3) いずみ野線延伸の取組状況について(鉄道に関すること)

いずみ野線延伸の実現に向けて、検討している「上下分離方式」と言われる鉄道の整備手法について、一 般的な考え方の紹介を行いました。

上下分離方式の一般的な例

事例: 相鉄·JR直通線(上⇒相鉄、下⇒鉄道·運輸機構)





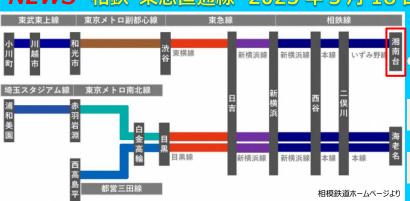
鉄道事業者

- 列車の運行を行う
- 整備主体に線路の使用料を支払う

第三セクター※など | ※ (狭義)国や地方公共団体と民間が合同で出資・経営する企業

- インフラ(線路・トンネル等)の建設を行う
- インフラを保有・管理する
- 運行主体から支払われる使用料から、整備時の借入金を返済する

NEWS 相鉄·東急直通線 2023年3月18日開業!



湘南台から乗り換えなしで、

新横浜、渋谷方面に行けるようになります。

●途中駅の改札内の乗り換えで、

大手町、浦和美園方面に行けるようになります。

湘南台 ⇔ 新横浜

現在、横浜市営地下鉄で50分程度

湘南台 ⇔ 渋 谷

最速 🧲

現在、小田急+井の頭線で57分程度

3) いずみ野線延伸の取組状況について(需要創出に関すること)

いずみ野線の延伸については、地域の皆様が日常的に公共交通を利用することが、鉄道延伸の事業性を 向上させ、延伸実現と便利で魅力あるまちの実現につながっていくことから、モビリティ・マネジメント(MM)※ の取組を進めています。

※MMとは、ひとり一人の移動が個人的にも社会的にも望ましい方向に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策

◆秋葉台小学校における路線バスを用いた体験型MM授業

実体験を通じて、路線バスへの親しみを感じることで、公共交通の利用につなげることを目的に実施しました。

<路線バスの乗り方教室>



<運転席からの死角体験>



<車いすの乗降実演>

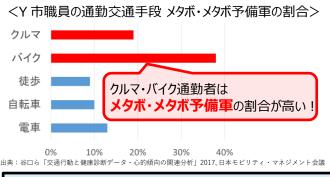


4) MMセミナー「かしこいクルマの使い方を考えてみましょう」

クルマ利用と公共交通利用を比較した客観的なデータを紹介し、ときと場合に合わせて移動手段を選択す る、かしこいクルマの使い方を考えていただき、日常の移動を考えるきっかけづくりをしました。

"健康"に着目した比較

クルマと公共交通利用では、健康や消費カロリーにはどのくらいの違いがあるでしょうか。



<15km の移動に伴う消費カロリー> 250 消費できるカロリー 200 220 2分の1以下 kcal 150 100 50 公共交通 クルマ 出典:日本モビリディ・マネジメント会議ホームページ

便利で快適な クルマを使う 体を動かす 機会の減少 運動量の低下

第8回連絡会の主なご意見

- ▶ 先行区間である湘南台~B駅(慶応大学 SFC 付近)の延伸で終わるのではなく、倉見(寒 川町)まで延伸することの方がメリットが大きいと思う。
- ▶ 相鉄東急直通線の開業により、多方面に行けることになるので、広く PR できたらよい。
- ▶ 今後、さらに人口減少が進み、利用客も少なくなるので、早く延伸を進めてほしい。
- ▶ 需要創出が課題ということだが、どれくらいの利用者が必要なのか示してほしい。